

令和5年度 第5回 神戸小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年2月7日(水) 10:30 ～ 12:00

2 場 所 神戸小学校 図書室

3 あいさつ

- 最近では地域行事の打ち合わせが多い時期で忙しい。地域の行事などでどのように子どもたちと関わっていくか考えていく必要がある。(委員長)
- 今年度も残すところあと1か月余りで、来年度への準備段階に入った。行事等も多く、子どもたちも頑張っている。(学校長)
- 市内小中学校でインフルエンザが多発し、7校で学級閉鎖等の対応がでている。コロナも流行の傾向にあり、引き続き注意が必要。(支援課)

4 議事内容

【学校関係者評価について】

- ・ 各項目について、補足説明と意見交換を行う。
- ・ ICTについて、委員の方々の中には「よくわからない」との意見があり、評価が取りにくい。次年度には委員の皆さんにクロームブックを体験していただき、理解を深めていただくことも検討していく。
- ・ 学校創立記念日について、子どもへの周知が必要である。祝日を設ける、学習の題材として取り上げるなど学校の歴史について関心を持つことも大切である。
- ・ コロナ禍で学校・地域連携の行事が一度途切れた。今後はどのような形で実施するのか、復活させていくのか、これからの時代に見合った持ち方を検討する必要がある。

【卒業式について】

- ・ 今年度の卒業式について中学校区の方針を説明し、委員の皆さんに来賓として卒業式への出席を依頼。

5 総括

- ・ 今年度の学校関係者評価のまとめを切り口として、来年度の学校経営のもととなる。他校の学校関係者評価を学校ホームページなどで見て神戸小のものと比べてみるのもよい。
- ・ 学校、地域ともに何でもコロナ前の形に戻すことはなかなか難しい。子どもたちのために新たな形で提示、還元できるものを構築していく必要がある。
- ・ 学校ホームページの閲覧者数増加の手立てとして、配信メール等にリンクを載せるなど、地域、保護者が手軽に閲覧できる仕組みをつくることが有効な手立てとなる。